

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・地理総合	単位数	2(前期又は後期)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取り組みなどを理解することができる。また、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想・考察し、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 新地理総合(帝国書院)</p> <p>新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>高等学校 新地理総合ノート(帝国書院)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。また、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想・考察し、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前半	<p>[第1部 地図でとらえる現代世界]</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>第2章 結び付きを深める現代世界</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p> <p>・定期考査等</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	100点	100点	100点
後半	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>[第3部 持続可能な地域づくりと私たち]</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p> <p>・定期考査等</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	月	単元及び学習内容	時数
前半	4	10	〔第1部 地図でとらえる現代世界〕 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	8
	5		第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	8
		11	〔第2部 国際理解と国際協力〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	16
	6	12	..... 中間考査(前期又は後期)	1
後半	7	1	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	18
			〔第3部 持続可能な地域づくりと私たち〕 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	10
	8	2	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	4
	9	3	..... 期末考査(前期又は後期) ..... 前期又は後期の学習のまとめ	1 4

#### 5 その他

地理総合は新しく必修科目として定められた科目です。なぜ、全国の高校生が地理総合を学ぶ必要があるのでしょうか。単元・学習内容を見て考えてみてください。授業では、全員が安心・安全に学ぶことができる環境を大切にしていきます。授業は先生だけで作るものではありませんので、学びに向かう気持ちを大切にしてください。この科目は半期科目です。半期の間に週4時間で授業を進めていきますので、まずは授業への出席を大切にしましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・地理探究	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理的事象やその空間的な配置、秩序などを成り立たせている背景や要因を、地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどと人間の営みとのかかわりに着目し追究することができる。</p> <p>(2) 地理に関わる諸事象に関して、地図や調査、諸資料などを多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>地理探究(山川書店)</p> <p>新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>地理統計要覧 2026年版(二宮書店)</p> <p>地理探究ワークブック(二宮書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理的事象やその空間的な配置、秩序などを成り立たせている背景や要因を、地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどと人間の営みとのかかわりに着目し追究することができる。	地理に関わる諸事象に関して、地図や調査、諸資料などを多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。	地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めようとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察] 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 人・モノ・金のつながり	・定期考査等 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 [第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察] 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 [第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像]	・定期考査等 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察] 第1章 自然環境 ①地形	32
	5	②気候と生態系	
	6	③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災	
	7	⑤地球環境問題	23
	8	第2章 資源と産業 ①農林水産業 ②資源・エネルギー ③工業	
	9	④第3次産業	
		第3章 人・モノ・金のつながり ①交通・通信 ②貿易・観光	10
		前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	第4章 人口、村落・都市 ①人口 ②村落・都市	20
	11	第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教	4
		②国家とその領域	8
	12	[第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察] 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	25
	1	①中国 ②朝鮮半島	
		③東南アジア ④南アジア	
	2	⑤西アジア・中央アジア ⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ	8
		⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国		
	[第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像] ① 現代日本に求められる国土像		
3	後期期末考査	1	
	後期の学習のまとめ	4	

#### 5 その他

地理探究では、自分自身で学習の課題を発見したり、問いを立てたり、学習者が主体となって目標を立てていくことが必要になります。地理が好きで、専門的に地理を学びたい人におすすめです。地理的な見方・考え方を大切にして、地理的課題について一緒に考えていきましょう。扱う事象はなるべくみなさんにとって、身近なものを取り上げます。また、中間考査は実施せず、単元テストを自分たちで作成し、受験をしてもらう予定です。授業には必ず iPad を持参してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・歴史総合	単位数	2(前期又は後期)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>明解 歴史総合(帝国書院)</p> <p>明解 歴史総合ノート(帝国書院)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前半	各地域の諸文明 1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後半	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	月	単元及び学習内容	時数	
前半	4	10	各地域の諸文明		
			地域の歩み 1 東アジアの文明	2	
			地域の歩み 2 南・東南アジアの文明	1	
			地域の歩み 3 西アジア・北アフリカの文明	2	
			地域の歩み 4 ヨーロッパの文明	2	
				地域の歩み 5 南北アメリカの文明	1
	5		1部 歴史の扉		
			1章 歴史と私たち	1	
			2章 歴史の特質と資料	1	
	6	11	2部 近代化と私たち		
序章 近代化への問い			1		
1章 江戸時代の日本と結び付く世界			4		
2章 欧米諸国における近代化			5		
			3章 近代化の進展と国民国家形成	4	
			4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	4	
			5章 近代化が進む日本と東アジア	4	
			中間考査(前期又は後期)	1	
後半	7	1	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち		
			序章 国際秩序の変化と大衆化への問い	1	
			1章 第一次世界大戦と日本の対応	3	
			2章 国際協調と大衆社会の広がり	5	
				4章 再出発する世界と日本	4
	8	2	4部 グローバル化と私たち		
			序章 グローバル化への問い	1	
			1章 冷戦で揺れる世界と日本	4	
	9		2章 多極化する世界	4	
3章 グローバル化のなかの世界と日本			4		
			期末考査(前期又は後期)	1	
			前期又は後期の学習のまとめ	4	

#### 5 その他

歴史総合は新しいカリキュラムで、新設された必修科目です。近現代史を中心に、日本や世界の歴史、文化及び社会や日本と世界の結びつきについて学んでいきます。

歴史を学ぶことは、自分の視野や考え方を広げることができ、政治、経済、社会に対する考え方をより深めることができます。ぜひ興味を持って意欲的に取り組んでください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・日本史探究	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>詳説日本史(山川出版社)</p> <p>新詳日本史(浜島書店)</p> <p>要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1章 日本文化のあけぼの (1)文化の始まり (2)農耕社会の成立 歴史資料と原始・古代の展望 ①古代社会と海外との交流 ②木簡から古代国家を探る	8
	5	第2章 古墳とヤマト政権 (1)古墳文化の展開 (2)飛鳥の朝廷	8
	6	第3章 律令国家の形成 (1)律令国家への道 (2)平城京の時代 (3)律令国家の文化 (4)律令国家の変容	8
		第4章 貴族政治の展開 (1)摂関政治 (2)国風文化 (3)地方政治の展開と武士	8
		前期中間考査	1
	7	第5章 院政と武士の躍進 (1)院政の始まり (2)院政と平氏政権 歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る	12
	8	第6章 武家政権の成立 (1)鎌倉幕府の成立 (2)武士の社会 (3)モンゴル襲来と幕府の衰退 (4)鎌倉文化	10
		第7章 武家社会の成長 (1)室町幕府の成立 (2)幕府の衰退と庶民の台頭 (3)室町文化 (4)戦国大名の登場	10
	9	前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	第8章 近世の幕開け (1)織豊政権 (2)桃山文化 歴史資料と近世の展望 生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	8
	11	第9章 幕藩体制の成立と展開 (1)幕藩体制の成立 (2)幕藩社会の構造 (3)幕政の安定 (4)経済の発展 (5)元禄文化	8
		第10章 幕藩体制の動揺 (1)幕政の改革 (2)宝暦・天明期の文化 (3)幕府の衰退と近代への道 (4)化政文化	8
	12	第11章 近世から近代へ (1)開国と幕末の動乱 (2)幕府の滅亡と新政府の発足 歴史資料と近代・現代の展望 ①五箇条の誓文と国是 ②貿易の変遷からみる日本の近代・現代	8
		後期中間考査	1
	1	第12章 近代国家の成立 (1)明治維新と富国強兵 (2)立憲国家の成立	5
		第13章 近代国家の展開 (1)日清・日露戦争と国際関係 (2)第一次世界大戦と日本 (3)ワシントン体制	5
	2	第14章 近代の産業と生活 (1)近代産業の発展 (2)近代文化の発達 (3)市民生活の変容と大衆文化	4
		第15章 恐慌と第二次世界大戦 (1)恐慌の時代 (2)軍部の台頭 (3)第二次世界大戦	4
	3	第16章 占領下の日本 (1)占領と改革 (2)冷戦の開始と講和	4
		第17章 高度成長の時代 (1)55年体制 (2)経済復興から高度経済成長へ	4
		第18章 激動する世界と日本 (1)経済大国への道 (2)冷戦の終結と日本社会の変容 現代日本の課題の探究	5
		後期期末考査	1
	後期の学習のまとめ	4	

#### 5 その他

日本の歴史は、アジアや世界の歴史と深くつながっています。日本史探究では、原始・古代から近現代までの日本の歴史を、より深く、より詳しく学ぶこととなります。しかし、日本の歴史は日本だけの歴史ではありません。日本の歴史は世界の歴史でもあります。世界のなかで日本を理解するという姿勢を大切にしながら、日本の歩みを一緒に探っていきましょう。授業では、プリントを綴じるための穴あきファイルを用意しておいてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・世界史探究	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に探究しようとする態度を身に付け、日本国民としての自覚や我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>詳説世界史(山川出版社)</p> <p>詳説世界史ノート(山川出版社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に探究しようとする態度を身に付け、日本国民としての自覚や我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第2部 諸地域の交流・再編	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	第3部 諸地域の結合・変容 第4部 地球世界の課題	・定期考査等 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 諸地域の歴史的特質の形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質	8
	5	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	8
		第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	8
	6	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	8
		前期中間考査	1
	7	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	6
		〔第2部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	8
	8	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	8
		第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	4
	9	第9章 大交易・大交流の時代	6
前期期末考査		1	
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	8
		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	8
	11	〔第3部 諸地域の結合・変容〕 第12章 産業革命と環大西洋革命	8
		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	8
	12	後期中間考査	1
		第14章 アジア諸地域の動揺	5
	1	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	5
		第16章 第一次世界大戦と世界の変容	6
	2	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	6
		〔第4部 地球世界の課題〕 第18章 冷戦と第三世界の台頭	5
3	第19章 冷戦の終結と今日の世界	5	
	後期期末考査	1	
		後期の学習のまとめ	4

#### 5 その他

世界史探究では、世界各国の歴史を古代から近現代まで広く取り扱います。歴史総合に比べて、各国の歴史を深く学習していくため、地域と時代を確認しながら学習しましょう。授業でペアワーク等を行うこともあります。授業でプリントを綴じるため、穴あきファイルを用意しておいてください。また、調べ学習を行うこともあるため、授業にはできる限り iPad を持参してください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・日本史演習	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題を把握したり、その解決策を考えたり、考えたことを効果的に説明・議論することができる。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>詳説日本史(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店) 2027 実戦攻略 歴史総合, 日本史探究 大学入学共通テスト問題集(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題を把握したり、その解決策を考えたり、考えたことを効果的に説明・議論することができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後期	第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1章 日本文化のあけぼの (1)文化の始まり (2)農耕社会の成立	4
	5	第2章 古墳とヤマト政権 (1)古墳文化の展開 (2)飛鳥の朝廷	4
		第3章 律令国家の形成 (1)律令国家への道 (2)平城京の時代 (3)律令国家の文化 (4)律令国家の変容	4
	6	第4章 貴族政治の展開 (1)摂関政治 (2)国風文化 (3)地方政治の展開と武士 ※日本史探究で学んだ内容(古代)を、ワークシートや問題演習を通して、理解を深める。	4
		第5章 院政と武士の躍進	6
	7	(1)院政の始まり (2)院政と平氏政権	
		第6章 武家政権の成立	6
	8	(1)鎌倉幕府の成立 (2)武士の社会 (3)モンゴル襲来と幕府の衰退 (4)鎌倉文化	
		第7章 武家社会の成長 (1)室町幕府の成立 (2)幕府の衰退と庶民の台頭 (3)室町文化 (4)戦国大名の登場 ※日本史探究で学んだ内容(中世)を、ワークシートや問題演習を通して、理解を深める。	5
	前期の学習のまとめ	2	
後期	10	第8章 近世の幕開け (1)織豊政権 (2)桃山文化	4
		第9章 幕藩体制の成立と展開 (1)幕藩体制の成立 (2)幕藩社会の構造 (3)幕政の安定 (4)経済の発展 (5)元禄文化	4
	11	第10章 幕藩体制の動揺 (1)幕政の改革 (2)宝暦・天明期の文化 (3)幕府の衰退と近代への道 (4)化政文化	4
		第11章 近世から近代へ (1)開国と幕末の動乱 (2)幕府の滅亡と新政府の発足 ※日本史探究で学んだ内容(近世)を、ワークシートや問題演習を通して、理解を深める。	4
	12	第12章 近代国家の成立 (1)明治維新と富国強兵 (2)立憲国家の成立	2
		第13章 近代国家の展開 (1)日清・日露戦争と国際関係 (2)第一次世界大戦と日本 (3)ワシントン体制	2
		第14章 近代の産業と生活 (1)近代産業の発展 (2)近代文化の発達 (3)市民生活の変容と大衆文化	3
	1	第15章 恐慌と第二次世界大戦 (1)恐慌の時代 (2)軍部の台頭 (3)第二次世界大戦	3
		第16章 占領下の日本	3
	2	(1)占領と改革 (2)冷戦の開始と講和	
		第17章 高度成長の時代 (1)55年体制 (2)経済復興から高度経済成長へ	2
		第18章 激動する世界と日本 (1)経済大国への道 (2)冷戦の終結と日本社会の変容 ※日本史探究で学んだ内容(近現代)を、ワークシートや問題演習を通して、理解を深める。	2
	3	後期の学習のまとめ	2

#### 5 その他

この科目は、すでに日本史探究(もしくは日本史B)を修得した生徒を対象に開講します。日本史演習では、日本史探究で学んだ日本の歴史を、問題演習などを通して、より深くより詳しく学ぶこととなります。しかし、歴史という学問は単に古い出来事や人物の事績を追い求めるだけのものではありません。歴史を学ぶことで、自らの歴史観を形成し、適切な判断力や決断力を身に付けることがねらいです。「私たちはいかに明日を生きるのか」という未来を探ることに関わる学問であるといえます。演習問題などに挑戦することにより、日本史への理解を深め、関心を高めながら歴史的な見方・考え方を伸ばしていきましょう。授業では、ワークシートなどを綴じるための穴あきファイルを用意しておいてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・世界史演習	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、歴史的資料から世界の歴史や諸課題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる諸課題の解決に向けて考察したり、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。</p> <p>(3) 世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>詳説世界史(山川出版社)</p> <p>2027 実戦攻略 歴史総合, 世界史探究 大学入学共通テスト問題集(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、歴史的資料から世界の歴史や諸課題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる諸課題の解決に向けて考察したり、構想したことを効果的に説明したり、議論することができる。	世界の歴史の展開や歴史にみられる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第2部 諸地域の交流・再編	・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後期	第3部 諸地域の結合・変容 第4部 地球世界の課題	・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題 ・レポート	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 諸地域の歴史的特質の形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質	4
	5	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	4
		第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	4
	6	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	3
		第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	4
	7	〔第2部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	4
		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	4
	8	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	2
9	第9章 大交易・大交流の時代	4	
		前期の学習のまとめ	2
後期	10	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	4
		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	4
	11	〔第3部 諸地域の結合・変容〕 第12章 産業革命と環大西洋革命	4
		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	4
	12	第14章 アジア諸地域の動揺	3
		第15章 帝国主義とアジアの民族運動	3
	1	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	3
		第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	3
	2	〔第4部 地球世界の課題〕 第18章 冷戦と第三世界の台頭	3
		第19章 冷戦の終結と今日の世界	2
3		後期の学習のまとめ	2

#### 5 その他

この科目は、すでに世界史探究(もしくは世界史 B)を修得した生徒を対象に開講します。世界史演習では、世界史探究で学んだ世界の歴史を、問題演習やレポート作成などを通してより深く学ぶこととなります。問題演習などに挑戦することにより、世界史への理解を深め、関心を高めながら歴史的な見方・考え方を伸ばしていきましょう。授業では、ワークシートなどを綴じるための穴あきファイルを用意しておいてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・地理演習	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、空間的な配置、秩序などを成り立たせている背景や要因を理解するとともに、地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどを地図や地理情報システムを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に活用し、人間の営みとのかかわりを効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる諸事象に関して、地図や地理情報システム、調査、諸資料などを多面的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>地理探究(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>2027 実戦攻略 地理総合, 地理探究 大学入学共通テスト問題集(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>地理に関わる諸事象に関して、空間的な配置、秩序などを成り立たせている背景や要因を理解するとともに、地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどを地図や地理情報システムを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に活用し、人間の営みとのかかわりを効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。</p>	<p>地理に関わる諸事象に関して、地図や地理情報システム、調査、諸資料などを多面的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり、議論することができる。</p>	<p>地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとし、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めようとする。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>[第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察]</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>第2章 資源と産業</p> <p>第3章 人・モノ・金のつながり</p> <p>第4章 人口、村落、都市</p>	<p>・提出課題</p> <p>・レポート</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p> <p>・レポート</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	100点	100点	100点
後期	<p>第5章 文化と国家</p> <p>[第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察]</p> <p>第1章 地域区分</p> <p>第2章 現代世界の諸地域</p> <p>[第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像]</p>	<p>・提出課題</p> <p>・レポート</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p> <p>・レポート</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察] 第1章 自然環境	12
	5	①地形 ②気候と生態系 ③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災 ⑤地球環境問題	
	6	第2章 資源と産業 ①農林水産業 ②資源・エネルギー ③工業 ④第3次産業	7
	7	第3章 人・モノ・金のつながり ①交通・通信 ②貿易・観光	4
	8	第4章 人口、村落・都市 ①人口 ②村落・都市	10
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域	8
	11	[第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察]	21
	12	第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア	
	1	④南アジア ⑤西アジア・中央アジア ⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ	
	2	⑧ロシア ⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国	
	3	[第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像] ①現代日本に求められる国土像	4
		後期の学習のまとめ	2

#### 5 その他

この科目は、すでに地理探究(もしくは地理 B)を修得した生徒を対象に開講します。地理演習では、地理探究で学んだ地理的事象を、問題演習やレポート作成などを通してより深く学ぶこととなります。大学受験を前提とした、問題演習などに挑戦することにより、地理への理解を深め、関心を高めながら地理的な見方・考え方を伸ばしていきましょう。授業では、ワークシートなどを綴じるための穴あきファイルを用意しておいてください。